NEWS RELEASE



令和８年１１月１８日
保健福祉総務課　難病等対策グループ
横山、正（内線　3137）
087-832-3260（直通）

香川県難病相談支援ネットワーク事業における

令和８年度第１回 神経筋難病研修会を開催します。

医学が進歩した現在でも、原因が不明で治療法が確立しておらず、そのため長期間にわたる療養が必要になる難病があります。

県では、こうした難病について、早期の正しい診断や適切な治療の継続などができる難病医療提供体制の確保を図り、難病の患者やその家族のための相談支援を行うことにより、患者や家族の方々が地域で安心して暮らせるような環境整備を目的とする「香川県難病相談支援ネットワーク事業」を実施しています。

テーマ　「難病支援の理解を深める２つの視点
－呼吸・認知への理解とかかわり－

１．日時　**令和８年１１月２５日（水）１４：００～１５：３０**

（受付　１３：３０～　　休憩　１４：４０～１４：５０）

２．場所　**独立行政法人国立病院機構 高松医療センター　作業療法棟**

（※）県では平成 31 年 4 月に「難病診療分野別拠点病院」に指定しており、
専門領域（神経筋疾患）の診断と治療を提供する機能を担っています。

３．対象者　**難病患者を支援する医療・介護・福祉関係者**

４．講演テーマ

講演①　14:05～14:40(質疑応答含む)

同じＮＰＰＶ設定ではうまくいかない！
－ＡＬＳとＭＳＡの病態からみる呼吸管理の違い－

＜講師＞　独立行政法人国立病院機構高松医療センター　主任臨床工学技士　村上 成重　氏

講演②　14:50～15:25(質疑応答含む)

神経筋疾患における認知機能の特徴と支援

＜講師＞　独立行政法人国立病院機構高松医療センター　言語聴覚主任　三好 まみ　氏

詳細については別添チラシを御参照ください。
※当日の取材については、直接高松医療センターにお申込みください（別紙１）